

平成14年度 公共事業再評価調書（地すべり対策事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業）

評価確定日	平成14年11月27日
所管部課名	農林水産部 農地整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																																													
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果																																														
<p>【路線名】</p> <p>【箇所名】</p> <p>ばら しま 茨 島</p> <p>【所在地】</p> <p>山本郡琴丘町 上岩川</p>	<p>【事業の目的】</p> <p>地すべりによる被害を除去し、又は軽減することにより、農地や農業施設等を守り、農業基盤の維持および国土の保全を図るとともに、人家の破壊や人命等への危険等を除去し、民生の安定を図る。</p> <p>平成8年の融雪時に地すべりが発生。地すべりの拡大により農地や農業施設および下流域にも被害を及ぼすことが懸念されたため、平成9年度より最も地すべりが顕著なブロックから防止工事を実施している。</p> <p>【総合計画上の位置付け】</p> <p>「あきた21総合計画」の「新世紀あきたの農業農村ビジョン」において「快適で生き生きした農村づくり」「県土の保全・自然生態系を育む基盤づくり」として位置付けられている。</p>	<p>【事業の経緯】</p> <p>H9 調査、集水井1基、水路工396m 集排水ボーリング704m他</p> <p>H10 調査、護岸50m、水路工59m他</p> <p>H11 調査、護岸工111m、水路工103m</p> <p>H12 調査、水路工97m、斜面整地工他</p> <p>H13 調査</p> <p>H14 調査</p> <p>【進捗状況】</p> <p>H14末 投資済事業費 168百万円（36.4%）</p> <p>【長期継続の理由】</p> <p>地すべり防止工事の効果判定調査をしながらの対策であるため、期間を要している。</p>	<p>【社会経済情勢の変化】</p> <p>事業採択時から再評価実施までの周辺環境の変化</p> <p>特に変化はない。</p> <p>【地元の意向】</p> <p>茨島草地利用組合では、粗飼料を安定確保するため、草地の早期利用を希望している。</p> <p>【環境対策】</p> <p>「農業農村整備環境対策指針」に基づき保全すべき環境を確認の上、事業推進している。</p> <p>本地区では、環境関連法令に係わる事項は特になし。</p>	<p>【整備効果】</p> <p>地すべりが発生した箇所の防止工事を実施したことにより、区域全体の地すべり活動が抑制され、安定化してきている。</p> <p>【費用の変化】</p> <p>物価変動に伴う事業費の減 当初事業費比 0.94</p> <p>【費用対効果】</p> <p>効果算定を実施していない。</p>	<p>今後、実施を予定している防止工事は、斜面末端部の補完工のみ。 H16まで区域全体の観測調査を継続し、事業完了する予定である。</p>																																													
					<p>3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点</p> <p>【コスト縮減の可能性】</p> <p>これまで実施した防止工事により区域全体が安定化してきており、未施工ブロックについては安定を確認のうえ事業量、事業費を減とし事業完了する予定である。</p> <p>【代替案立案の可能性】</p> <p>なし。</p>																																													
<p>【事業の内容】</p> <p>地すべり対策事業 指定区域面積 26.22ha 保全対象 農地 25.85ha、農業用水路5.0km、揚水機13基、 家屋（農具庫、人家等）10棟、町道、橋梁、河川他</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>緒 元</th> <th>計 画 時</th> <th>再評価時</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調 査</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防止工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>集水井工</td> <td>4基</td> <td>4基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>集排水ボーリング工等</td> <td>5,763m</td> <td>5,763m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地表水排除工（水路工）</td> <td>793m</td> <td>793m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>浸食防止工（護岸工）</td> <td>172m</td> <td>172m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費（百万円）</td> <td>490</td> <td>462</td> <td>28</td> <td>労務・資材費の低下</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>H9～H16</td> <td>H9～H16</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(見込み)</p>		緒 元	計 画 時	再評価時	増 減	理 由 等	調 査	1式	1式			防止工事					集水井工	4基	4基			集排水ボーリング工等	5,763m	5,763m			地表水排除工（水路工）	793m	793m			浸食防止工（護岸工）	172m	172m			事業費（百万円）	490	462	28	労務・資材費の低下	工 期	H9～H16	H9～H16						
緒 元	計 画 時	再評価時	増 減	理 由 等																																														
調 査	1式	1式																																																
防止工事																																																		
集水井工	4基	4基																																																
集排水ボーリング工等	5,763m	5,763m																																																
地表水排除工（水路工）	793m	793m																																																
浸食防止工（護岸工）	172m	172m																																																
事業費（百万円）	490	462	28	労務・資材費の低下																																														
工 期	H9～H16	H9～H16																																																
再評価の結果	対応方針（案）及びその理由			公共事業評価専門委員会の意見																																														
<p>継続 ・ 中止</p>	<p>【対応方針（案）】</p> <p>平成16年度事業完了を図る。</p> <p>【理 由】</p> <p>本事業の実施により、地すべり指定地全体が安定化してきており、一部補完工事を実施するとともに区域全体の観測調査を継続し、安定を確認する。</p>			<p>継続は妥当と認める。</p>																																														

地下水排除工
集水井 N = 4 基
水抜きボーリング工 L = 5,763m
地表水排除工 L = 453m
浸食防止工(護岸工) L = 172m
斜面改良工 N = 1式
地すべり防止区域面積 A = 26.2 h a
事業費 462百万円
事業期間 H9 ~ H16

(参考)計画時に
農業資産(農地、生産被害等) 一般資
産(住宅、道路被害等)に対する資産防護
便益が投資額(事業費)を償えるかどうか
判断している。

資産防護便益 > 投資額(事業費)

680,907千円 > 490,000 千円